

コンサルティング・エンジニア連盟会長就任挨拶



令和3年2月
コンサルティングエンジニア連盟
新会長 長谷川伸一

本年よりコンサルティング・エンジニア連盟(以下、連盟)の会長を務めます長谷川です。

会員の皆様には、日ごろから連盟の活動にご理解を戴いておりますと共に、連盟へ会員として加入戴き、連盟活動へご協力戴いていることに感謝、お礼申し上げ、今後も、これまでも増して連盟へのご支援をお願いいたします。

さて、昨年初めより世界中で感染が拡大している「新型コロナウイルス感染症」により、我が国の経済活動は大きな影響を受け、連盟の母体であるインフラ整備を担う建設コンサルタンツ業界の経営においても少なからず、特に海外事業において大きな影響を受けていると聞いております。

そのような状況下で、我が国の国際的地位の復権を含めた経済活動の基盤であるインフラ整備の重要性を改めて認識する必要がありますが、少子高齢化による担い手の不足や税収不足に係る財源確保の課題も大きく、一方で脆弱で自然災害の多い、使い勝手の悪い国土の強靱化、防災・減災への備えであるインフラ整備は重要な課題と捉えています。

また地球環境の急激な変化と、いつどこで起こっても不思議でない自然災害の多様化や老朽化したインフラ資本の維持・管理、長寿命化、更に新型コロナウイルス感染症等、疫学上の課題を踏まえた社会構造の変革に対応する、新たな技術革新の中でのインフラ整備の必要性と在り方等、国土整備に関わる国や自治体、および我々、建設コンサルタンツ業界が担う課題は山積している状況にあります。

それらの課題の解決、克服は我が国のグランドデザインに基づいて行われる必要がありますが、まずは日常的な経済活動を支えるインフラ整備の必要性を国民全体の認識とすべきであり、それらに技術をもって実現していく事が、建設コンサルタンツ業界の使命でもありと考えています。

建設コンサルタント業界が、我が国の安心・安全で快適な国土のインフラ整備に関わっていくためには、優秀な人材を求め、公正な技術力競争のもとに適正な契約方式と報酬・利益、更に良好な働き方を推進していく健全な経営が必須です。

それら建設コンサルタンツ業界が独自の努力で解決することのできない諸問題の本質的な改善は、立法・行政を動かす政治との適切な関係によって実現されると考えており、建設コンサルタンツ業界と政治との適切な関係を担うのが連盟の役割・使命であると考えています。

これら政治との良好な関係性を具現化していく手段として、建設コンサルタンツ業界に関わる諸問題を政治の場で主張して戴く職域代表の国会議員を高位で当選させて国会に送ること、その活動を支援していく事が建設コンサルタンツ業界の諸問題の解決に繋がっていく事を共通認識にしなければと考えています。

現在、我々の職域代表の国会議員として、3期目になる佐藤信秋参議院議員、1期目の足立敏之参議院議員が国会で活躍されていますが、両参議院議員の政治活動等を全面的に支援すること、それと2022年7月に2期目の選挙を迎えられる足立敏之参議院議員の高位当選を実現することを、連盟の当面の最大の目標にしております。

これまで、佐藤、足立両参議院議員の政治活動、および国土交通省のご尽力による、「公共事業の品質確保の促進に関する法律の調査設計の改善」の成果は、建設コンサルタンツ業界の経営改善と地位向上に弾みがつくものであり、これら目に見える成果を出す活動も連盟の大きな役割と捉えており、その結果が連盟への会員の皆様の信頼とご支援になっていくものと考えています。

令和2年度は、「新型コロナウイルス感染拡大」の中で、大島前会長のご指導と会員の皆様の連盟へのご理解と期待によって、これまでの会員が飛躍的に増加致しましたことにお礼申し上げます。

この成果をさらに大きく育てていく事が私の役割であると考えており、立法・行政等への要望活動にかかわる議員への支援、また若い世代に政治との関わりへの理解を得る事も重要として、政治活動の意義について広報等を通して連盟の活動を充実させていきたいと考えております。

これらの活動の詳細を有意な形で会員の皆様に理解戴くことで連盟へのご理解を深めて戴き、そのことによる会員の安定的増加が連盟の組織、財務基盤の強化につながる事、その結果を建設コンサルタンツ業界の利益と発展に繋げていく事を述べさせて戴き、連盟会長就任の挨拶と致します。

以上